

平成24年度 まち・きらきらセミナー 第1回概要

平成24年11月18日 14:00～15:00

三沢市国際交流教育センター 研修室1

1. 講師	おおまエスコートクラブ 代表 蛸子 良子 氏
2. テーマ	大間のマグロと女性達 ～商品づくりと観光ガイドで、売り込め大間を！
3. 内容	<p>○セミナー趣旨説明</p> <p>平成21年度から始まり、三沢に住んでいる女性に三沢の魅力を再発見していただき、まちづくりに参加するきっかけづくりと、講座を通して女性同士のネットワークづくりを目的に開催した。</p> <p>○講師紹介</p> <p>本州最北端の町、そしてマグロの町、大間の町の魅力をより多くの方々に知って頂くため、観光ガイドとして4年前にマグロの漁師の元気な女性を集めておおまエスコートクラブを結成し、日々観光PRに励んでいる。</p> <p>また、昨年10月、農村漁村男女共同参画優良活動表彰の次世代を担う若手地域リーダー部門で農林水産副大臣表彰を受けた。</p> <p>◆講演◆</p> <p>生活改善グループ大間風（やませ）という役場の任意団体から活動が始まった。</p> <p>商品作りと観光ガイドでまちを売り込んでいる、おおまエスコートクラブを紹介。</p> <p>旅行会社15社と契約し、19年から23年でガイドした観光客数19,500人。</p> <p>今年に入り、4,000人プラス。</p> <p>主に収入源は、加工水産と予約制のガイド。</p> <p>活動のきっかけは、生活改善グループは、高齢者が集まりべこもち作りから始まったが、町主催のお祭りに5人の主婦おなじみの顔ぶれが集まっているところ、特産物作りをしていた方々が高齢化により活動できなくなったため役場から改善グループを立ち上げてみないかと提案で始まった。</p> <div data-bbox="1034 1061 1401 1335"> </div> <div data-bbox="1034 1384 1401 1644"> </div> <div data-bbox="1034 1720 1401 1989"> </div>

最初に作ったのは、代々作られ、地元で消費されてきた、はまなすジャムをリニューアルし、大間の花のはまなすの実と弘前のりんごと合わせて、おおまこまちと名付け商品となった。

まずは、
受け継いだはまなすジャムをリニューアル



大間漁協の水産物直売所にて、マグロの胃袋、マグロの皮、生っぴなどマグロの珍味を販売している。
漁師の町でしか入らない食材、漁師が食べているものを研究して作った。

何と言っても、大間は**マグロ**！



大間の珍味

大間の商品をまとめて、大間を喰らうシリーズを作ったところ、関東の東京から注文が入りブームとなっている。
そのうちに、徐々に女性たちが組合に集まってくるようになり、その中でいろんな商品ができる。

大間を喰らうシリーズ密かなブーム



皮の酢味噌和え
胃袋のキムチ和え
キモの味噌漬
血合いの生姜漬
血合いの山椒漬
ちゃんじゃ

真空・冷凍パック

マグロの胃袋や内臓を使って、マグロのシチューを作った。
まちのパン屋に依頼したり、料理の得意なお母さんたちに相談して、パンごと食べられる、シチューを作り、後々にレトルトの加工品となった。

軽量で常温保存のお土産品



人気の
おーマグポットを
シチューの
レトルト加工品に

商品を作ると、加工して冷凍や冷蔵で販売することが通常であるが、買ってすぐに帰宅しないお客さんがあることや、持ち歩く時間が長いことが理由で、常温で持ち歩ける商品を作った。

既存レシピを工業用レシピに変え
レトルト加工技術を習得



苦労しながらも完成したのが、大間マグロシチューたこ飯の素。大間さめカレー。賞味期限は1年。
冷凍販売から始めて、次の年でレトルト3姉妹が完成。
地元のお土産品として購入するお客さんが増えている。



レトルト3姉妹

現在、アイテムが38となり、つるあらのあめ、手で干した黄金のてんぐさ、はまなすちゃん、えびちゃんバッチ、手作業で作ったうちわやTシャツなどを作った。



生活改善グループから3年目で、観光ガイド部門を立ち上げた。

大間の漁師について詳しく知っていることがきっかけで、漁師に会いに行くツアーを始めた。

そのことが旅行会社の目に止まり、大間のマグロを有名にしたいとの声から観光ガイドへとつながった。



いざ、観光ガイドをすることになったとき、大間のまちを知らないことがわかり、独自で3つのガイドを作った。

1つは、青空散策コース、1つは、あの漁師に会いたいコース、1つは大間崎から大間漁協までの最短コース、現在はマグロパワースポットめぐりが新しくできた。



最北端の風景。さつ丸のさっちゃんから始まり、バスを降りると、玄関口として皇潤のCMに出ているさつ丸のさっちゃん、あけみちゃん号、土門商店、川畑商店を〇〇ちゃんです、とお客様に名前で紹介している。



右回りのスペシャルコース。マグロパワースポットのスペシャルコース版。

大間んぞくさん、2001年ご祝儀相場、第1位。10年間の記録保持者。2,020万のマグロを釣った三好丸さん。

このマグロスポットコースは、食堂大間んぞくさんから大間漁協までの間に7件のマグロ御殿がある。



右下の白い家は大間のホワイトハウスと呼ばれていて、去年の御祝儀相場が1,646万円のマグロを釣った、りゅうえい丸さん。

左下のグレーの家は3年前の御祝儀相場が1,000万円のマグロを釣った、古川さん。

左上の通りは大間で一番大人気のコース。マグロに賭けた男たちシリーズ、一番手前の家、マグロの釣れない、山本きよ丸さんのマグロあばら家御殿。

右上の赤信号は北のはずれの赤信号。



小さいころ両親を亡くし、自分たちでマグロの技法を開発し、今では若手No.1、2、3まで上り詰めた凄腕兄弟。

右上の茶色の家、次男でNo.1。

左上の水色の家は長男の家。

下の家は三男のマグロ御殿。

全部がコースの一線状になっている。



マグロのモニュメントで写真を撮ったり、本州最北端の地の碑でみんなと写真を撮ったりしている。



下の家はテレビ最多出場、川畑組合長のマグロ御殿。いつも家の屋根にかもめが止まり、フンをかけられることで有名になっており、運をつけてもらっているということで話題。



バスに乗って最後のマグロ御殿。

マグロー一本釣りテレビチャンピオンで3回目のテレビチャンピオン。4本取って350万。優勝賞金が20万。出演料10日間で150万を手にした、えびちゃんの実家である。



左上や右下のように、ガイドをやっている。
左下は漁師がくつろぐ場所。30人くらいの漁師が集まり、情報交換をしている。
漁師が自己紹介をしたり、今ではサインももらえる和やかな場所。



浜町商店街の主催で日曜日にマグロ祭りを開催している。一昨年からは、マグロを解体した刺身を食べてもらおうと提供している。



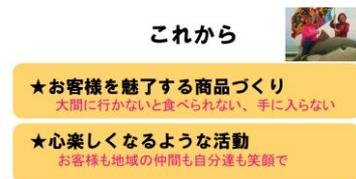
第八春照丸のマグロ御殿、ブルーの館。
今年のご祝儀相場、キロ単価の21万、269キロ総額5,649万円のマグロを釣った。
メディア嫌いで顔が知られていないが、唯一社(みのもんたの朝ズバ)だけが岸壁で構えていて、その一社のみ生電話で出演した。



JRの旅市のポスター。東京駅から北東北全部の駅に貼られている。
全社の旅行冊子に写真を掲載している。
キャッチコピー、レールの先に笑顔がある。
一人でも多くの方に笑顔になってほしい、という想いがある。



大間に行かないと食べれない手に入らない料理、もっとおいしい料を提供したい。心楽しくなるような活動をする。元気で笑顔で仕事がしたい。



何もできなくても、料理が苦手でも、一人ひとりが得意な分野を持っていることで、苦勞を分かち合えて、信頼関係が保たれる。何でも話合える同士がいることが成功への道になる。



◆質疑応答◆

Q：よくテレビで、漁師さんが一本釣りができなかったという話を聞きますが、今の話で豪邸を紹介していますが、一本何千万なのですか？

A：何千万というのはご祝儀相場だけです。一本だけです。それが毎年大間のマグロがご祝儀にかかります。

Q：家庭と仕事の両立はどのようにしていますか？

A：主人が出稼ぎに行っているため、お姑さんと子どもと住んでいて、まだ学生なのでお金がかかります。なので、男のように私が稼いで子どもたちにはさびしい思いをさせていると思いますが、家のことはおばあちゃんに任せています。おばあちゃんに理解してもらっています。

Q：蛸子さんが活動をはじめたころのご主人はどのような感じでしたか？

A：あきれていましたが、大間の町の中でも、理解してくれる人してくれない人様々です。組合の中でも様々な目もあり、いろいろ言われます。でも、次の日仕事があるので、落ち込んでいる暇がないです。なので、主人が何か言っていたのかもしれませんが、都合よく聞き流していました。今は仕事に誇りを持っています。立ち上げた当初は子どもが小さかったので、子どもを連れて仕事をして、一緒にバスに乗っていました。そういう親の仕事を見せることも大事だと思いました。

Q：貴重なお話をありがとうございました。今度大間でおいしいものが食べられなくても、お話だけでもごちそうになってきたいと思いました。そして、連合婦人会の社会見学として、あとで会長にお願いしたいと思いました。その時はよろしくお願いします。

A：ぜひ、いらっしゃってください。指名していただければと思います。

◆閉会◆

◆事務局からの連絡事項◆

次回のきらきらセミナーは12月14日（金）18時から20時までで、市民活動ネットワークセンターみさわで行いますので、よろしくお願いたします。



以上、平成24年11月18日（日）開催の「まち・きらきらセミナー」の概要報告といたします。